

これまでに悪性腫瘍の治療を受けた患者さんへ 【過去の検体・治療データの調査研究への使用のお願い】

順天堂大学医学部附属順天堂医院人体病理病態学講座では、埼玉県立がんセンター、栃木県立がんセンター、埼玉医科大学国際医療センターとの多施設共同研究として、「全がん的な新規治療標的遺伝子異常の探索」という研究を行っております。悪性腫瘍は全身に起こりますが、外科手術により良好な予後が得られる場合と、一方で切除後に再発を繰り返す、予後不良の転帰を取るものもあります。さまざまな悪性腫瘍がどのようにして起こり、どのような特徴を有する腫瘍が再発を繰り返すのか、研究が進んでいますが、まだ全てが明らかになってはいません。私たちは、全身の悪性腫瘍のタンパク質発現の異常や遺伝子異常を免疫染色や次世代シーケンサーを含む色々な方法を用いて検索し、タンパク質発現の有無や遺伝子異常の有無・種類と悪性度（再発や病気による死亡）との関係を調べています。得られた知見が、患者さんにとってより良い治療法を選択することにつながるものと考えています。そのため、過去に悪性腫瘍の治療を受けた患者さんの手術病理組織検体およびカルテ等の治療データを使用させていただきます。

○この研究の対象となる患者さんは、順天堂大学医学部附属順天堂医院において外来・入院による治療を受けられた方で、研究開始時点においては遺伝素因の関与の程度、および再発・転移機構が明らかでない全ての悪性腫瘍の治療を受けた方です。

利用させていただく試料・カルテ情報は下記です。

病理組織検体ならびに診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）、治療内容

○この研究は順天堂大学医学部研究等倫理委員会の承認を受けて行われます。

- ・研究実施期間 西暦 倫理委員会承認日 ~ 西暦 2026年3月31日まで
- ・研究責任者 齋藤 剛
- ・研究分担者 末原義之、林大久生

○過去の病理組織検体・データを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

○患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離れた上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる個人情報を含みません。

○調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大学・研究者に帰属し、あなたには帰属しません。

○この研究は、国立研究開発法人 科学技術振興機構よりの研究費ならびに日本学術振興会科学研究費によって実施しており、外部の企業等からの資金の提供を受けておりません。研究者が企業等から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」第 12 の 1 (2) ア(ウ)の規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント（説明と同意）を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代わりに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。なお、研究参加の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

順天堂大学医学部附属順天堂医院 人体病理病態学講座

電話：03-3813-3111 （内線）3523

PHS：71392

研究担当者：齋藤 剛